

【記載例】

領収書に蓄電システム設備費・蓄電システム設置工事費の内訳が記載されていない場合に作成してください。

販売事業者様が作成する書類です。

中野区長 宛て

補助対象設備の設置にかかる領収書内訳証明書

次の顧客に発行した蓄電システムの設置にかかる領収書は、〇〇年 〇月 〇日付け領収書（領収書番号 〇〇）のとおりですが、設置費及び設置工事費の内訳について、下記のとおり証明いたします。

顧客名	中野 太郎
設置場所	中野区〇〇町〇丁目〇番〇号

蓄電システム設備費 (消費税込み)	800,000 円	蓄電システム設備費・蓄電システム設置工事費以外の金額はその他経費にまとめてください。
蓄電システム設置 工事費 (消費税込み)	300,000 円	
その他経費 (税抜き)	500,000 円	
消費税	160,000 円	
合計 (税込み)	1,760,000 円	合計金額は契約書の契約金額と一致している必要があります。

〇〇年 〇月 〇日

社印又は代表者印を押印してください。

(住所) 東京都中野区中野〇-〇-〇
(会社名) 株式会社 〇〇工務店
(代表者) 〇〇 〇

